

令和7年度の進学体験インタビューは、深谷大里看護専門学校へ通われている3人の学生さんにお話を伺いました。今月から毎月3人の方のインタビュー記事を掲載します。4月は木村さん、5月は設楽さん、6月は櫻井さんの予定です。

進学の間緯や勉強の進め方、将来の夢はそれぞれですが、皆さん力強く今を進まれています。進学を考えるきっかけになると嬉しく思います。



左から設楽さん、木村さん、櫻井さん

「進学して仕事の幅をひろげる」



木村 潤也氏

在校 深谷大里看護専門学校
*2年課程通信制

介護職をきっかけに准看護師から看護師を目指し、現在訪問看護の経験から社会福祉士取得も考え、将来の仕事の幅を広げるため、進学を決めた理由を伺います。

◎看護師を志した理由

介護職で働いていた際に職場の人に勧められたことがきっかけです。

高校生の時、別のことがやりたかったんですけど、進学は選択肢に入らず、「働けばいいや」という軽い気持ちで何となく就職したのが、近くの病院でした。

働き始めてから、「看護師になれば就職も困らないし、若いし看護師免許をとったほうがいいんじゃない？」という職場の人の意見もあって、ちょうど働いていた病棟に来年から准看護師課程に進学する人もいて一緒に行こうとなりました。

勤務先には、午前中働いて午後学校に行くようなモデルになる人達がありました。また、勤務先の病院で勤めていると学費の補助も受けられ、実習も勤めている病院でできる、入学試験面接も病院でうけられるなど、優遇されており、迷わず病院の関連している学校で准看護師の資格を取得しました。

◎実際の看護の世界はどうでしたか

整形外科病棟で働きました。「ありがとうございました」「お世話になりました」と、みんなよくなって元気になって帰っていかれる。いろいろな年齢の患者さんもいて、やりがいがありました。

◎進学を志した理由

准看護師の資格を持ち、働いていく中で1年目から看護師資格を取得した方がいいと思っていました。必要な実務経験を満たしたらすぐとろうと考え、7年経って入学しました。

◎仕事と学びの両立で苦勞されたこと

妻も准看護師なので、勉強しなきゃいけないのはわかってくれています。料理とか家事とか全部やってもらって、協力してもらっています。

今、仕事が忙しくて、なかなか勉強の時間が作れないので、家族に迷惑をかけないように、自分の睡眠時間を削って、夜中の2時3時まで勉強しています。最近は、子どもの寝かしつけで一緒に寝ちゃって、まったく手が付けられなかった月もあるんですけど、今月は頑張ります。

◎想像していた学生生活との違い

想像より大変。全然思っていたより大変でした。少し息抜きの時間を作りながら勉強を進めたりして・・・大変ですけど。

◎モチベーション維持の方法

まとまった時間で一気に終わらせたいので、それ以外の時はゆっくり過ごすのがモチベーションを維持する方法です。休みの日は、課題とか何も考えずに過ごして、ここでやろうと決めた日に一気にやる方法です。オンとオフみたいに、集中するときとメリハリつけて、ということです。

◎どんな看護師になりたいですか？

今は訪問看護ステーションで働いているので、看護師免許をとって、3年くらいしたら違う資格取得を目指したいと考えています。病院で働いていると、介護保険等の知識を得る機会が少なかったように感じます。

訪問看護ステーションでは、看護師以外の仕事もあり、社会福祉士など社会資源の活用や介護分野にも詳しくなりたいと思っています。

◎進学しようとしている人へ、メッセージ

准看護師課程を卒業して7年経過すると、学校で学んだことを忘れていくことが多いです。深谷大里看護専門学校に入って学ぶなかで、こうだったなと思い出せることもあります。看護をする上ではアセスメントが大切なので、知識もつくし、大変ですけど勉強になるので、ぜひ看護師課程の進学をお勧めします。仕事の幅が広がり、給料もあがりますので、看護師資格を取った方がいいと思います。